報告第1号

# 平成25年度
# 活動内容報告

nittan

IBURI × HIDAKA Regional Strategy Meeting

# Ⅰ 新聞報道掲載

| 日付 | 掲載紙 |
|---|---|
| 平成２５年１０月　４日 | 朝日新聞掲載 |
| | 毎日新聞掲載 |
| | 読売新聞掲載 |
| | 北海道新聞掲載 |
| | 苫小牧民報掲載 |
| | 室蘭民報掲載 |
| １０月　５日 | 苫小牧民報掲載 |
| １０月１７日 | 北海道新聞掲載 |
| １０月２４日 | 北海道新聞掲載 |
| １０月３０日 | 苫小牧民報掲載 |
| １１月１９日 | 北海道新聞掲載 |
| | 苫小牧民報掲載 |
| １１月２８日 | 北海道新聞掲載 |
| １２月　６日 | 苫小牧民報掲載 |
| 平成２６年　１月　１日 | 北海道新聞掲載 |
| | 苫小牧民報掲載 |
| １月２８日 | 苫小牧民報掲載 |
| ２月　４日 | 北海道新聞掲載 |
| ２月　７日 | 苫小牧民報掲載 |
| ２月１９日 | 北海道新聞掲載 |
| | 苫小牧民報掲載 |
| ２月２１日 | 北海道新聞掲載 |
| ２月２２日 | 苫小牧民報掲載 |
| ２月２３日 | 北海道新聞掲載 |
| ３月　６日 | 北海道新聞掲載 |
| ３月２１日 | 北海道新聞掲載 |
| ３月２４日 | 北海道新聞掲載 |
| ３月２７日 | 日本経済新聞掲載 |

新幹線で胆振・日高活性化を

15年度新函館開業に向け始

「戦略会議」が発足

官民一体で取り組みへ

観光振興に知恵絞る

日胆地域戦略会議

地の利生かす誘致焦点

ルートから外れた観光地どうPR

先進地 南九州で学ぶ

北海道新幹線

「旅の目的地必要」

全町長14人が参加

開業まで2年

新幹線と北海道

▸▸▸3

強い危機感 日胆が先手

海線、山線の戦い

「コスプレフェスタ」でスープカレーを売り出し、日胆地域をPRする自治体職員ら＝2月23日、苫小牧市

## Ⅱ ワーキンググループの開催

| 日付 | 活動内容 | 活動場所 |
|---|---|---|
| 平成２５年　１０月　３日 | nittan 設立総会 | 苫小牧市 |
| １０月２１日 | 第１回ワーキンググループ | 登別市 |
| １１月１８日 | 第２回ワーキンググループ | 苫小牧市 |
| １１月２６日 | 第３回ワーキンググループ | 新ひだか町 |
| １２月　４日 | 第４回ワーキンググループ（東胆振地域ブランド創造協議会との意見交換会） | 白老町 |
| １２月　６日 | 第５回ワーキンググループ | 伊達市 |
| 平成２６年　２月　６日 | 函館視察「北海道新幹線開業に向けた取り組みについて」 | 函館市 |

### 長期連泊ツアー検討

日胆 新幹線戦略会議が始動

【登別温泉】「北海道新幹線×nittan地域戦略会議」（会長・岩倉博文苫小牧市長）は6日、登別温泉で今後、企画の取り組みを施策に落とし込むための会議を開いた。3日間の長期連泊ツアーの検討や、「管内観光マップ」の作成などを盛り込んだ行動計画を確認した。

同会議は、2016年3月予定の北海道新幹線新函館（仮称）開業と、35年度予定の札幌延伸を見据えて、管内の観光関係者らと意見交換した。3日の設立総会で発足した同会議は、具体的な施策の検討に着手し、実践的に動いていくことになる。

道と登別、苫小牧など市の担当者、観光関係者ら計7人が参加。本年度は道外の企業に提案を働きかけるなどして、戦略会議のロゴ（nittan）の名刺を広めることにした。

道外で知名度が少ずつ上がり、各地域にいい素材はある。地元にも「日胆」という地域を浸透させるモデルケースとしていきたい」と話した。

意見交換では函館市の企画部や観光コンベンション部の職員が出席。渡島、檜山や青森県との広域連携事業、観光プロモーション活動などを紹介した。特に集客力の高い「はこだてグルメサーカス」や、交通機関や観光施設などを進める公衆無線LAN（無内情報通信網）拠点の整備手法などに関心を示した。

7日は、新幹線開業イベントや東京オリンピック開催を見据えた合宿誘致などについて意見を交わし、北斗市の新駅予定地を視察した。登別市政策・秘書グループの煤孫泰洋主査は「日胆地域も人口減少の課題を抱えている。30年後に地域として生き残る体力を付けるために函館を手本に学ぶ意義は大きい」と話していた。（函館新聞）

「管内の交通機関のパスを作りたい」などと具体案を話し合った会合

日高管内で初開催された意見交換会

### 「日胆でも観光列車を」

戦略会議 新幹線開業見据え議論

新ひだか

【新ひだか】胆振、日高管内の自治体でつくる「北海道新幹線×nittan地域戦略会議」（会長・岩倉博文苫小牧市長）の意見交換会が26日夜、女性センターみらいで開かれ、2016年3月予定の北海道新幹線新函館（仮称）駅開業と、35年度予定の札幌延伸を見据えた日高の観光政策などについて、「秘境と呼ばれる日高山脈の活用を」といった提案のほか、次いで開かれ、日高管内では初めて。両市などの事務局をはじめ自治体、商工会、民間団体などから計28人が参加した。

会議では、「たまたま出された。

同会議は、2016年3月予定の北海道新幹線新函館（仮称）開業と、35年度予定の札幌延伸を見据えて管内の観光関係者らと意見交換した。3日の設立総会で発足した同会議は具体的な施策の検討に着手し、実践的に動いていくことになる。

道と登別、苫小牧など市の担当者、観光関係者ら計7人が参加。本年度は道外の企業に提案を働きかけるなどして、戦略会議のロゴ（nittan）の名刺を広めることにした。

道外で知名度が少ずつ上がり、各地域にいい素材はある。地元にも「日胆」という地域を浸透させるモデルケースとしていきたい」と話した。

意見交換では函館市の企画部や観光コンベンション部の職員が出席。渡島、檜山や青森県との広域連携事業、観光プロモーション活動などを紹介した。特に集客力の高い「はこだてグルメサーカス」や、交通機関や観光施設などを進める公衆無線LAN（無内情報通信網）拠点の整備手法などに関心を示した。

7日は、新幹線開業イベントや東京オリンピック開催を見据えた合宿誘致などについて意見を交わし、北斗市の新駅予定地を視察した。登別市政策・秘書グループの煤孫泰洋主査は「日胆地域も人口減少の課題を抱えている。30年後に地域として生き残る体力を付けるために函館を手本に学ぶ意義は大きい」と話していた。（函館新聞）

函館市職員と意見を交わした日胆地域戦略会議の視察

### 来年度企画を討議

観光戦略推進会議 誘客へアイデア出し合う

白老

民間主導による観光戦略推進会議の第7回会合が4日、白老町の総合センターで開かれ、東胆振地域の商工会等部会青年部の取り組みなど、来年度の観光企画について、グループワークを行った。会合には北海道新幹線×nittan地域戦略会議のメンバーも参加。道内外の関係者50人を想定し、参加した約30人が東胆振の観光戦略についてさまざまなアイデアを出し合った。

推進会議は、東胆振の1市4町の団体でつくる東胆振地域ブランド創造協議会のプロジェクトチーム。今年度は、「東胆」「観光」が付いた小冊子「いろはにほへと東胆振」の「お勧めグルメ紹介」「ホリアルバスポート」を発行。今年度の参加観客では、雲丹30万所で109人がパスポートを利用。各市町で一定の効果があり、利用者からも高評価を得たとの意見が示された。

来年度企画案の協議では、道外客向けツーリングライダーなど長期滞在客と、グループ化に繋がる問題を条件に設定。現状では40代以上の女性客と小学校低学年の子どもがいるファミリー層を対象に、誘客案を共に向けたグループ討議を行った。

資料客向けでは、ライダー向けの付加価値を付けた観光商品の提供を、具体化の可能性は乗もってなし企画などを提案。提案者は取り組みは、女性客をターゲット（ターゲットとして集客）とした企画ことの在り方を強調しているもの、「内の一次産業を活用し、事務局は今回の取り組みを「提案段階」としては評価を得たとの意見が示された。

事務局は、これらの意見を参考にし、来年度の事業を組み立てる。7回目の会合」などと説明。複数の事業体と地域の関係者が知恵を出し合い、観光客誘致に地域活性化の活動を進めていく考えだ。

グループ討議の内容を発表する参加者

### 先進地 南九州で学ぶ

ルートから外れた観光地どう戸惑

北海道新幹線

全町長国人が参加

「旅の目的地必要」

## Ⅲ nittan 地域 Wi-Fi 利用環境の整備に向けた説明会の開催

①平成２６年３月１２日　胆振総合振興局大会議室
②　　〃　　３月１８日　新ひだか町公民館集会室
③　　〃　　３月２０日　苫小牧市民活動センター会議室

Wi-Fi 観光促進プロジェクト説明会

新ひだか

Wi－Fi環境整備の説明会

## Ⅳ 胆振総合振興局三大遺産

### 第1回「きて!みて!さわって!三大遺産」

開催日：平成25年11月23日

## Ⅳ とまこまいコスプレフェスタ

### nittan 千人スープカレー

開催日：平成26年2月22・23日

### nittan 物産展

開催日：平成26年2月22・23日

### とまこまいコスプレフェスタ ×nittan コラボレーション出店

開催日：平成26年2月22・23日

## Ⅵ Facebook 開設

## Ⅶ オリジナルグッズ制作

nittan カード

キーホルダー

スタッフジャンパー

物産展バナー

物産展看板

スープカレー看板

議案第1号

# 平成26年度
# 事業計画案について

nittan

IBURI × HIDAKA Regional Strategy Meeting

# 本会議は
# 北海道新幹線開業の効果を最大限享受するため、
# 官民一体となって取り組みます。

平成26年新年度をむかえ、北海道新幹線開業まで残り2年あまりとなりました。
新幹線開業を契機にして北海道がより注目され、道外から訪れる観光客や
ビジネス利用客の増加が期待されます。こうした機会を活かすため、
新幹線沿線ではない胆振日高地域でも、最大限の効果を享受できる取り組みを
積極的に行っていくため、官民一体となった新組織である本会議が設立されました。

重点戦略は胆振日高管内での新幹線開業の気運醸成を行い、nittan 地域の魅力を発信する「情報戦略」と、観光資源を磨きながら新たな魅力を作り出す「観光戦略」、そして魅力を生かすための交通網の形成を目指す「交通戦略」を3本柱として取り組みます。

重点戦略 +αとして「総合的地域間連携」があります。新幹線開業を契機として個々の魅力を高めるとともに、当地域がもっと密接に、もっと理解し合い、助け合い、nittan の地域力の向上をはかります。

## 事業推進の目標期間

平成27年度末に予定される北海道新幹線函館開業までの短期、函館開業以降、概ね20年後とされる札幌開業と札幌延伸後を見据えた中長期的な活動として整理するなかで、特に、函館開業に伴う nittan 地域への波及効果を最大限高めるため、平成27年度末までの短期に集中して、重点戦略の方向性に沿った取り組みを検討し、効果的かつスピード感をもって事業展開を図ります。

# 函館開業までの2年間を選択と集中で「内外への情報発信」「魅力の再発見」の期間と位置づけ取り組みます。

平成27年度末の函館開業までの短期に集中して、重点戦略の方向性に沿った取り組みを検討し、効果的かつスピード感をもって事業展開を図ります。

| | | 2014年度上期 | 2014年度下期 | 2015年度上期 | 2015年度下期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 情報戦略 | オンライン | web,SNS 制作運用 | キャンペーン展開／動画配信 | | 第2次キャンペーン展開 |
| | オフライン | Dictionary・ポスター制作配布 | | Dictionary 内容更新 | |
| | その他 | コラボレーション商品開発 | 食イベントなどの開催 | 食イベントなどの開催 | |
| TOPICS | | 各種完成プレスリリース | キャンペーン展開プレスリリース | イベント展開プレスリリース | キャンペーン展開プレスリリース |
| | | | 広報誌・公式 web への掲載 | | 広報誌・公式 web への掲載 |
| 観光戦略 | 観光商品1 | ターゲット設定・観光商品造成 | | 観光商品造成 | |
| | 観光商品2 | ターゲット設定・調査 | 観光商品造成 | | 観光商品造成 |
| | その他 | | | 観光商品効果測定 | |
| TOPICS | | 旅行代理店等旅行商品造成依頼 | | | |
| | | web・Dictionary への掲載 | | | |
| 交通戦略 | | 2次交通検討会の開催 | | | |

## 2014年度事業

2014年度キャンペーン
オンライン
web,SNS, 動画配信
オフライン
Dictionary, ポスター
情報戦略
その他
イベント、コラボ商品
トピックス
広報誌・公式 web への
掲載
観光商品1
中高年齢層ターゲット
観光商品
観光商品2
若年層ターゲット
観光商品
観光戦略
その他
観光商品効果測定
トピックス
旅行代理店商品造成
オウンドメディア掲載
交通戦略
2次交通についての
検討会の実施

# Discover! nittan

Discover! nittan

北海道新幹線開業を契機に、nittanは世界に誇れる魅力を見つけます。

コンセプト

# 暮らしのなかでみつけた、ささいな幸せ。
# それは、誰かにとって
# 大きな発見かもしれない。

地域に暮らす人に、自分の身の回りにある
価値に気づいてもらうこと。

実はその価値は、ちがう地域に住む人にとって
とても大きな魅力に思えることがあります。

そしてその価値をかけあわせると、
日本中が驚くような、もっと大きな価値をうむかもしれない。

今までもっていた意識をリセットして、
なにげない日常に埋もれている価値を発見しよう。

きっとそれがおおきな一歩につながるから。

Discover! nittan

## 情報発信

nittanDictionary

オンライン動画展開

nittan web

## イベント

ノーザンホースパーク
マラソン2014

WEST IBURI
LONG RIDE
CYCLING

nittan Marchais
ニッタンマルシェ

## 商品開発

コラボ商品開発研究所

## 観光商品

中高年齢層
ロングステイ観光商品

若年齢層
ロングステイ観光商品

オフライン展開

# nittanDictionary

## 観光資源を網羅したストーリー性のある辞書のような魅力発信ツール

ワーキングでテーマにそった地域の資源を洗い出し、
有識者によりまとめた新しい観光資源をディクショナリー
（辞書）というテーマで掲載することにより、
地域資源を並列してみせることができます。
あえて文字情報を主体としてストーリー性をもたせた
情報を掲載することで、地域連携ならではの展開として、
体験行動を喚起させるツールになります。

### POINT 01　辞書のようにテーマ別に掲載する

自治体ごと、観光地ごとでカテゴリ分けするのではなく、資源別のカテゴリにわけて
辞書のように索引することが可能な媒体にすることにより、差別化が図れ、随時項目や
内容を更新することも簡単に行うことができ、媒体として成長することができます。

### POINT 02　あえて文字情報を主体に

あえて文字情報を主体として、ストーリー性のある体験型の情報を掲載することで
見る人の想像力をかき立てます。それによりさまざまな行動を喚起させることに繋がり、
さらにありきたりな旅行ガイドや観光パンフレットとの差別化が図ることができます。

### POINT 03　デザインと質感がよいもの

Dictionary を手にしたひとに、使い捨てではなく「ずっと持っていたい」と思って
もらえるものにできれば、リピーターとなる可能性や口コミが広がる可能性が高まります。
そのためにデザインと質感にこだわった仕様で媒体を制作します。

イメージ画像

オンライン展開

# オンライン動画展開

## 地域連携というテーマをもった
## ストーリー性のあるオンライン動画配信

前述の Dictionray で集めた情報をもとに、ポイントとなる体験型ストーリーを実際に撮影し動画として落とし込みます。地域のもつ魅力を説明的ではなく、イメージを重視した映像にすることで、より強い行動喚起を促します。
また複数のストーリー映像を製作し、独自 web を中心にさまざまな媒体を通じて段階的に配信していくことで、話題性と継続した nittan への注目を保ち続けます。

### POINT 01　Dictionary で集めた情報をもとに製作

前述の Dictionary 制作事業にて、集められた体験型の地域の情報をもとに、特に映像化することにメリットが感じられるものに対して撮影を行い短編の動画を製作します。

### POINT 02　複数のストーリーを段階的に配信

様々な視点で集約した地域資源を、カテゴリごとに複数のストーリー性のある映像として製作し、独自 web を中心に既成の媒体も活用し、段階的にオンライン上での動画配信を進めます。

### POINT 03　構成員の公式ウェブサイトから同時配信

構成員の持つウェブサイトのトップページにオンライン動画を掲載することで、情報発信のパイが広がり、より効果的な情報発信が可能になります。

オンライン展開

# nittan web

## nittan の情報を網羅した情報発信媒体
## コラボレーションを生む土台としても使用

オンラインの特性はどこからでも情報を得ることができる
ということです。それを踏まえ、nittan 地域の魅力を含んだ
さまざまな情報を集約し掲載することで、インフォメーションの
不足を解消する役割を果たします。
それに加え、動画の配信やイベントの開催情報など配信し
話題性を保ち続け、強力な情報発信力を持たせることを目指します。
また、nittan のもつ資源を活かした、コラボレーションを
推進する企画もウェブを通じて展開していきます。

## POINT　取り組みすべての情報を集約し発信する

Dictionary の内容を写真をつけて掲載し、オンライン動画も配信する。それ以外のイベントや交通・アクセス情報の掲載や、各自治体の取り組みや特色も集約し掲載する。

手に取ることができるもの（Dictionary）
見ることができるもの（オンライン動画）
調べることができるもの（ウェブサイト）
3つのコンテンツがあることで幅広いターゲットへの
情報発信が可能になります。
また、それぞれのコンテンツを連動させ、
不足している情報を補うことで、それぞれの
コンテンツにあった地域の魅力をより効果的に
伝えることができます。

その他

# 食イベントなどの開催

## 当地域を知ってもらうきっかけづくりのための豊富な資源を活かしたイベント展開

18市町のもつ豊富な資源を活かす、地域連携をテーマとしたイベントを開催し、地域内外への気運の醸成と認知度向上を図ります。このイベントをきっかけとして、地域の資源を再発見するとともに、nittan 地域内の相互理解を深め、今後の展開につながりと広がりをもたせることを目指します。

ノーザンホースパークマラソンへの参加

Northern HorsePark Marathon ノーザンホースパークマラソン2014

苫小牧の注目イベント「ノーザンホースパークマラソン」で「nittan スープカレー」などの提供を通じて取り組みの認知度を図ります。

**2014.5/18 開催**

サイクリングイベントの開催

WEST IBURI LONG RIDE CYCLING

### サイクリングツーリズムの推進と広域連携のスピンオフイベント

近年大きな伸びをみせている自転車をツールとしたツーリズムに nittan 地域として取り組むためのスピンオフ企画として、まず胆振を中心としてサイクリングイベントを開催します。

**2014.9/7 開催**

食イベントの開催

nittan Marchais ニッタンマルシェ

### 18市町のもつ豊富な食資源を集めたイベントの開催

nittan 地域がもつ豊富な食の資源を一同に集めた食イベントを開催することにより、地域内・北海道内の生活者に対する食資源の再発見を促します。

イベントブースパッケージ

### 18市町で既に開催している各種イベントに nittan ブースを出店

既存のイベントに nittan 特設ブースの設置の要望を積極的におこない、各地域での認知度向上と、気運の醸成を図ります。

その他

# コラボ商品開発研究所

## 全国に通用する商品とのコラボレーション開発推進と積極的 PR を展開する事業

地域内の資源で国内・海外にも通用する一定の品質基準をみたす商品を選定し、オリジナルのパッケージを開発し付加価値をつけ、積極的に PR し地域の活性化を目指します。また、一定の基準をみたした商品に対して、ウェブサイト上で紹介し、地域内外の企業などからのコラボレーションを募集し実現に向けてマネジメントを行い展開の具体化をはかります。

### POINT01　一定の基準をみたす高品質なもの

### POINT01　nittan や地域内外の企業とのコラボレーション

例

観光商品1

## 中高年齢層
## ロングステイ観光商品

30から60歳をターゲットとした観光商品の造成事業

実際に誘客したい地域外のターゲットに対して、魅力ある観光商品の造成を目指します。当地域内を回遊してもらうために、ロングステイをテーマにしたツーリズムを検討し、商品の造成を図る事業です。
商品の造成には JTB 北海道の強力をあおぎながら、民間企業を集めた組織で十分に検討し、より魅力的な商品の造成と効果的な展開を図ります。

観光商品2

## 若年齢層
## ロングステイ観光商品

はじめてのロングステイを nittan が応援する事業

道内・国内に向けた情報発信と話題性をうむために、若年層にターゲットを絞った観光商品の造成と、地元・民間施設との連携をはかり、新マーケットに向けての旅需要を創造する事業です。

2次交通

## 2次交通検討会の開催

函館から nittan エリアまでをどう運ぶか

北海道新幹線で函館まできたひとを nittan エリアまでどういった方法で運ぶか。移動時間は旅行者にとって非常に重要なものです。いかに移動手段を楽しみなものにするか、また魅力的な移動手段がなんであるのかについての検討会を開催していきます。

事業予算

以上の事業予算１０００万円
（地域づくり総合交付金）

議案第2号

（nittan 発見プロジェクト）

# Discover nittan Project
# 設置について

nittan

IBURI × HIDAKA Regional Strategy Meeting

## 組織名

# Discover nittan Project

（nittan 発見プロジェクト）

# DnP

（略称：ディーエヌピー）

## 設置目的

今後具体的な事業展開をする上で、民間企業のアイディアやノウハウを活かした事業を組み立てるとともに、企業間の繋がりをさらに発展させ、nittan 地域の発展に寄与することを目的とする。

## 構成メンバー

nittan に賛同していただける民間企業など

## 所管事項

nittan の事業に対する企画立案提言等を行い、各関係部会に提案する。

## 組織図

**※総会後、各自治体内から参加可能民間企業等を募集し、具体的な組織づくりについて協議する。**

お願い１

## 広報誌への掲載

nittan の取り組みについて、各自治体様のもつ広報誌や各団体様の会報への掲載協力をお願いいたします。
（同時期の掲載が望ましい）

お願い２

## 公式ウェブサイトへの掲載

nittan の取り組みや製作した動画などについて、構成員様のもつウェブサイトへの掲載協力をお願いいたします。
（同時期の掲載が望ましい）

お願い３

## イベントブースの参加

パッケージブース出展の際、物品や人員の参加協力をお願いいたします。

お願い４

## Dictionary 掲載内容の情報提供

Dictionary 制作事業について、掲載内容となる各市町の生の魅力についての情報提供をお願いいたします。

お願い５

## 議案第２号の協力

Discover nittan Project 設置についての協議会への参加のご協力をお願いいたします。
（詳細については、後日 nittan 事務局からご連絡差し上げます。）